経営比較分析表（平成30年度決算）

埼玉県　滑川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**	
-	90.33	99.84	2,268	

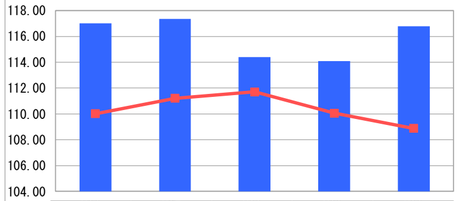
人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
19,038	29.68	641.44
現在給水人口(人)	**給水区域面積(km²)**	**給水人口密度(人/km²)**
19,115	29.35	651.28

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

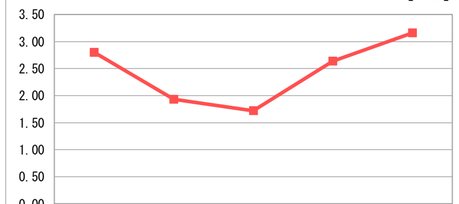
【112.83】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	117.01	117.34	114.40	114.08	116.78
平均値	110.01	111.21	111.71	110.05	108.87

②累積欠損金比率(%)

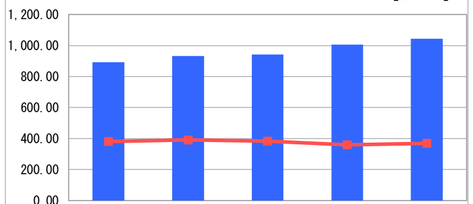
【1.05】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	2.80	1.93	1.72	2.64	3.16

③流動比率(%)

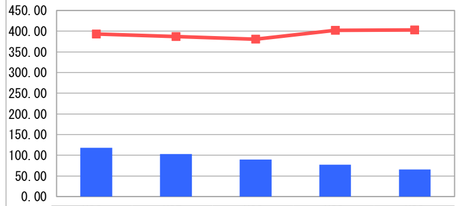
【261.93】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	891.59	932.06	942.11	1,005.13	1,044.38
平均値	381.53	391.54	384.34	359.47	369.69

④企業債残高対給水収益比率(%)

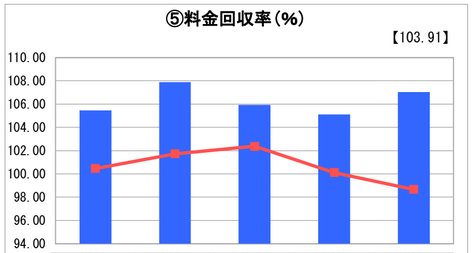
【270.46】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	118.29	102.75	89.82	76.83	66.03
平均値	393.27	386.97	380.58	401.79	402.99

⑤料金回収率(%)

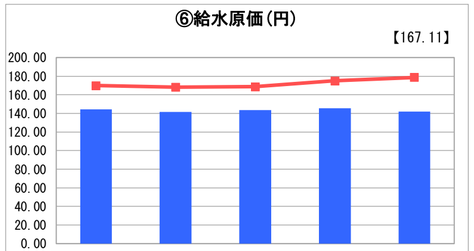
【103.91】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	105.46	107.89	105.93	105.10	107.05
平均値	100.47	101.72	102.38	100.12	98.66

⑥給水原価(円)

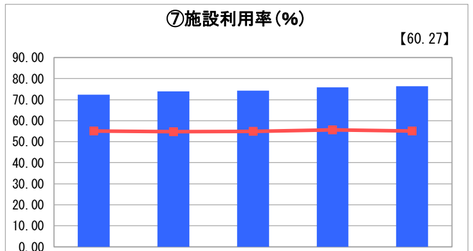
【167.11】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	144.41	141.75	143.57	145.39	141.88
平均値	169.82	168.20	168.67	174.97	178.59

⑦施設利用率(%)

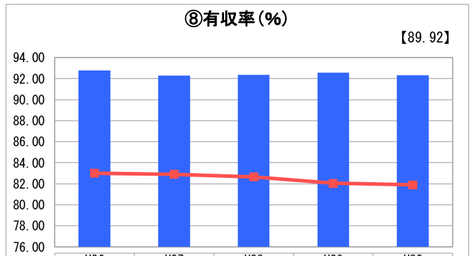
【60.27】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	72.42	73.97	74.25	75.83	76.36
平均値	55.13	54.77	54.92	55.63	55.03

⑧有収率(%)

【89.92】

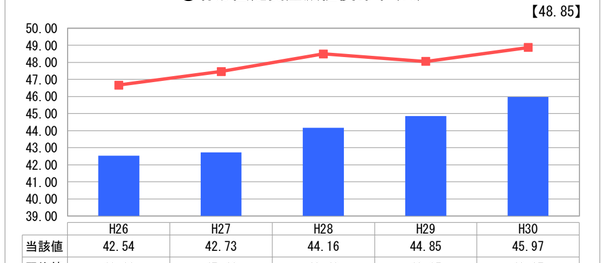


	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	92.78	92.27	92.34	92.55	92.33
平均値	83.00	82.89	82.66	82.04	81.90

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

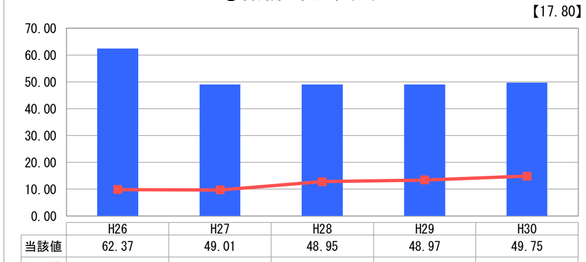
【48.85】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	42.54	42.73	44.16	44.85	45.97
平均値	46.66	47.46	48.49	48.05	48.87

②管路経年化率(%)

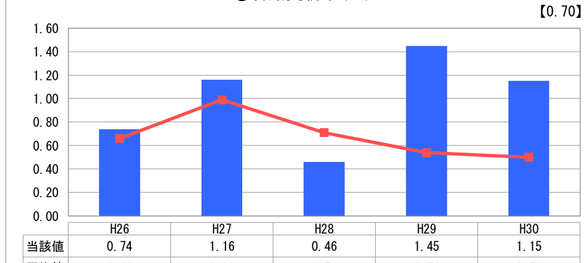
【17.80】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	62.37	49.01	48.95	48.97	49.75
平均値	9.85	9.71	12.79	13.39	14.85

③管路更新率(%)

【0.70】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	0.74	1.16	0.46	1.45	1.15
平均値	0.66	0.99	0.71	0.54	0.50

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
　今年度も類似団体の平均を上回っており、前年度より2.37%の増となった。収支が黒字の良好な状態である。

②累積欠損金比率
　今年度も0%を維持している。営業収益に対し、複数年にわたる損失はないことを示している。

③流動比率
　今年度も類似団体の平均を大きく上回っており、前年度より3.9%の増となった。支払い能力が良好な状態である。

④企業債残高対給水収益比率
　借入をせずに事業運営をしているため、ここ数年の企業債残高の規模は小さい。そのため類似団体の平均も下回っている。
今後は計画的な更新事業等を見据えていく必要がある。

⑤料金回収率
　類似団体の平均を大きく上回っており、前年度より1.86%の増となった。給水に係る費用は給水収益で賄えていると言える。

⑥給水原価
　給水1㎥あたりの製造費。今年度も類似団体の平均を下回っており、前年度より3.51円減少している。大幅な変化ではないため、数値は適切な状態である。

⑦施設利用率
　今年度も類似団体の平均を上回っており、前年度より0.7%の増となった。施設の利用状況や規模は良好な状態である。

⑧有収率
　今年度も類似団体の平均を大きく上回っているものの、前年度より0.24%の減となっている。
今後も漏水等には注意し、より一層の数値上昇を目指していく。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
　類似団体の平均を下回っているものの、前年度より2.5%の増となった。年々資産が老朽化していくため数値は上がっている。
引き続き計画的な施設の更新等を検討していく。

②管路経年化率
　今年度も類似団体の平均を大きく上回っており、前年度より1.59%の増となった。管路の老朽化は進んでおり、更新の必要性がより高いことを示す。
対処できるよう、引き続き計画的な更新の検討を進めていく。

③管路更新率
　前年度に引き続き、今年度も類似団体の平均を上回ってはいるが、前年度より20.69%の減となった。管路の更新割合が少なく、更新ペースも遅いことを示している。
早急な更新計画の検討が必要である。

全体総括

　滑川町は自己水源を持たないので、今後も増加する人口と水需要に対応するため、水の確保は常に課題としている。
　現在、当町の水道事業の健全性・効率性については、前年度に引き続き順調に推移している。
　施設や管路の老朽化が進み、更新ペースが追いついていない状況であるため、更新計画や投資のあり方をさらに検討していく必要がある。